

第1回 香南市地域公共交通会議

議事録

- 日時：令和4年12月16日（金）14時00分～15時35分
 - 場所：香南市役所本庁3階会議室
 - 出席委員：別府誠（香南市副市長）、坂本泰資（高知東部交通（株））、今西俊雄（（有）平和観光）、中村光明（（株）のいちタクシー）、山本倫世（（有）さくらハイヤー）、野島康博（（有）野島ハイヤー）、松山明夫（（社）高知県バス協会）、金谷正文（土佐くろしお鉄道（株））、横山郁夫（香南市社会福祉協議会）、吉田雅彦（住民・利用者代表）、山中節子（住民・利用者代表）、山本圭（四国運輸局高知支局）、山中敦志（高知県中央土木事務所）、太田豊（代理出席：谷田雄麻 土佐国道事務所）、宅間裕修（高知県交通運輸政策課）、門脇佐代子（香南市教育委員会）、都築敏夫（香南市高齢者介護課）
 - 欠席委員：宮野広至（四国運輸局高知運輸支局）、西内裕晶（高知工科大学）、長谷川聡義（南国警察署）
 - 事務局等：岩田由子、小川哲弘、宮崎遼（地域支援課）
土居貴之（合同会社えこ・まち研究室）議事録作成
-

開会

事務局より、委員20名のうち16名が出席であり、会議が成立していることを報告。

1. 香南市長 挨拶

香南市にとって地域公共交通会議は、市民の移動手段を考える非常に大切な協議の場である。香南市営バスの再編に向けて、検討委員会での協議を重ねて重要な段階にはいつてきたと考える。特に高齢者や障害のある人の移動手段として、また広い香南市の移動手段としてしっかりと機能するように、委員の皆さんによる議論を深めていただきたい。

2. 会長の改選

参考資料1をもとに、事務局が説明。本会議の会長は副市長が務めることが通例となっていたが、しばらく不在となっており、その間高知東部交通の坂本社長に事務局から会長をお願いしていたという経緯がある。この度、本市の副市長に別府が着任し、委員となったことから、地方自治体が中心となって地域の移動手段を確保していくという観点から、本日の会議より副市長の別府委員を会長に改選することを提案したい。

⇒ 全員賛成により承認。（以後の会議進行については新会長が担当）

3. 報告事項

(1) 市営バス再編に関するこれまでの検討について

事務局より資料1：市営バス再編に関するこれまでの検討についてを説明。

⇒ 質問や意見などは無し

4. 協議事項

(1) 市営バス再編計画（案）

事務局より資料2-1：市営バス再編計画（案）、資料2-2：再編案の詳細、資料2-3：香南市公共交通 全体路線図（案）〔令和5年10月より〕を説明。

○ 山中委員より質問

予約式乗合タクシーについて、予約は何日前から可能とするのか。また、乗降ポイントはどうなるのか。そして予約の連絡先はどこか決まっているのか。もっと具体的にお知らせしてほしい。

⇒ 事務局より回答

乗降ポイントはサービスの開始前にはしっかりと番号を付与してわかりやすくする。予約の可能期間や連絡先については、運行事業者が確定していないので調整中である。詳細が決まったらわかりやすく広報していく。

○ 会長より質問

予約式乗合タクシーのサービス開始について、タクシー会社に意見をうかがいたい。

⇒ 中村委員（のいちタクシー）

現段階において、予約の受付には不安がある。しかし乗降ポイントの番号が付与されるとのことで安心している。時間はぴったりにすべきなのか。（⇒ 事務局より回答：遅れ等あると思われるので、エリア型の時間については目安と考えてほしい。）

⇒ 山本委員（さくらハイヤー）

資料を拝見し、よくできていると考えている。

⇒ 野島委員（野島ハイヤー）

特に無いが、協議をすすめていくなかで課題がでてくると思われるので、そのときに一緒に話していきたい。

○ 金谷委員より意見

今回の改正案については、かゆいところにしっかりと手が届いており、素晴らしいと感じている。特に予約式乗合タクシーについて、100円というのが安くて喜ばれると考える。運行ダイヤ案では、列車との接続に配慮しているが、受ける予約のボリュームに対して、確実に対応できるのかが少し気になっている。

⇒ 事務局より回答

運行はタクシーの車両持ち込みによる自家用有償旅客運送で対応する方針である。利用者数については、タクシー車両には3人まで乗車が可能であり、現状の市営バス利用者数と比較しても問題ないと考えている。

○ 今西委員（平和観光）より意見

現在運行している市営バスのバス停は、道路の片側にしかない。はじめて利用する人で間違える人もいる。道路の両側にバス停を設置するなど、改善できたら地域のためにも良くなると思う。

⇒ 事務局より回答

確かに住民から要望も出されているが、道路上の制約から設置できないところもある。可能などころには道路の両側への設置を進めるとともに、すぐに対応できないところには掲示物への記載などでわかりやすくしていきたいと考えている。

(2) 利便増進実施計画の策定について

事務局より資料3：地域公共交通利便増進実施計画の策定についてを説明。

○ 金谷委員より意見

住民の移動手段としての市営バス再編等は充実していると思う。一方で、観光の移動支援として、空港からのアクセスをのいち駅につなぐことも含めて考えていただきたいと思う。

5. その他

(1) 今後のスケジュールについて

事務局より資料4：今後のスケジュールについてを説明。

⇒ 質問や意見などは無し

(2) 香南市地域公共交通計画 各施策の R4 年度及び R5 年度取組

事務局より資料 5：香南市地域公共交通計画各施策の R4 年度及び R5 年度取組を説明。

○ 今西委員（平和観光）より意見

来年 10 月からの再編に向けて素晴らしい計画ができようとしている。市営バスの運行を受託している立場から要望をしたいことがある。市営バスは乗務員が 10 名ほどいるが、市営バス乗務員用の休憩施設がのいち駅近辺に無く、昼食をバス車内でとっている状況にある。乗務員は主に香南市民でもある。十分に休憩し、バスを安全に運行できるように、休憩場所を設けていただくなど改善していただきたい。来年 10 月の再編に向けて是非ともお願いしたい。

○ 坂本委員（高知東部交通）より意見

事業番号 18 のフジグラン野市店での割引であるが、2,000 円以上買い物した人に 100 円切符を 2 枚フジグランが配布している。運賃の割引ではなく、フジグランのサービスとして実施してくれている。令和 4 年 11 月で 75 枚の実績があった。補助金を使うのとは違った、商業施設から公共交通を応援していただく手法として実施してもらっている。

また、バス乗り方教室を小学校での開催とあるが、公共交通会議を通じて申請していただければ、地域にも出て行き、年配の方を対象として行うことも可能であるので活用してほしい。

○ 宅間委員（高知県交通運輸政策課）より意見

事業番号 6：のいち駅と高知龍馬空港間を結ぶ乗合タクシー認知拡大と新たな輸送方法の検討について、県東部地域の公共交通計画にも従って検討がすすめられていたが、コロナ禍の影響を受けて航空利用者そのものが減少している。乗合タクシーの利用者はコロナ禍前の平成 30 年には 4,000 人ほどであったが、令和 2 年には 1,800 人、令和 3 年で 1,200 人余りと大きく減少している。今年度は 4 月～6 月の 3 ヶ月間で 746 人と利用が回復傾向にあるとはいえ、空港発便が乗合利用にはなっていない状況にある。航空便利用者数もコロナ禍前の 8 割程度まで戻ってきているが、今ただちに乗合タクシーを拡大するというのは難しいのではないかと考える。今後も適切な在り方を検討し、それに見合った支援を考えていきたいと思う。

また、事業番号 25：ファミリー向け割引制度等の導入について、バスでんしゃパスポートは県が主導しているが、交通事業者の協力のもとに実現できている。市営バスをこのサービスに組み込むことについては可能であると考えるので、ぜひやっていただきたい。

○ 吉田委員（住民・利用者代表）より要望

先日募集した市営バスの車両デザインなどについて、せっかく子どもたちや市民が描いてくれたものであり、採用には至らなかったとはいえ良いものもいくつかあったので、市役所ロビーへの展示など考えてあげてほしい。

⇒ 事務局より回答

前向きに対応したいと考える。

閉会

5月の次回会議にて、再編計画を確定させたい。

以上